

平成 27 年 12 月 25 日

会 員 各 位

構 造 懇 話 会
会 長 森 川 英 典

第 480 回 構造懇話会 平成 27 年度新例会のご案内【最終版】

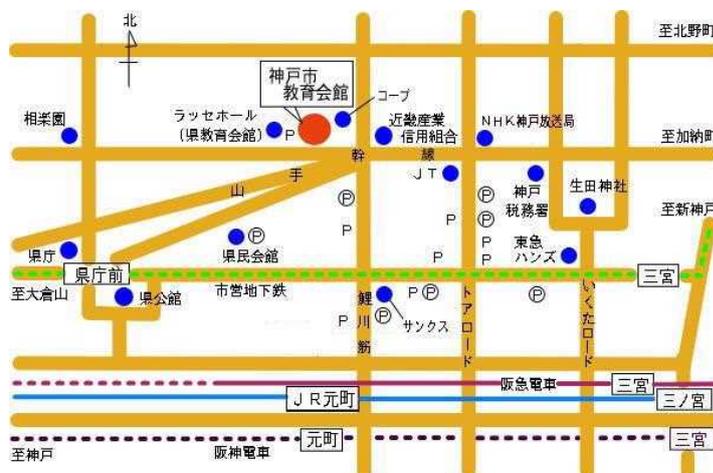
構造懇話会の運営に際しまして、日頃よりご支援賜り、誠に有難うございます。
標記の平成 27 年度新例会を下記のとおり開催いたします。
新例会は以下の通り、会員諸氏の常日頃の身近なテーマを取り上げています。
兵庫県、神戸市および各会社、団体の関係部局にもご案内をいただき、活発な
討議を期待しています。多数ご出席くださいますようご案内申し上げます。

記

1. 日 時 平成 28 年 1 月 27 日 (水) 13:15~17:30
○新例会終了後、懇親会(18:00~20:00(時間は予定))を開催いたします。
○懇親会参加申し込み用紙を作成いたしました。参加希望の方は「構造懇話会懇親会
申込書」をご参照のうえ、お申込み願います。
2. 場 所 神戸市教育会館 大ホール
神戸市中央区中山手通 4-10-5 TEL 078-222-4111
3. テーマ 『 橋梁老朽化対策の問題点と今後のあり方 』
○詳細はプログラムをご参照ください。

[連絡先] 〒550-0013 大阪府大阪市西区新町 2-20-6
株式会社 長大 秋永 高史
TEL : 06-6541-5796 / FAX : 06-6541-5486 / e-mail : akinaga-t@chodai.co.jp

[案内図]



第 480 回 構造懇話会 新例会プログラム

テーマ：「橋梁老朽化対策の問題点と今後のあり方」

日 程：平成 28 年 1 月 27 日（水）

時 間：13：15～17：30

場 所：神戸市教育会館 大ホール

【 第 1 部（特別講演） 】

13：15～13：20 開会の挨拶、講演者の紹介
構造懇話会会長 森川 英典

13：20～14：30 特別講演
「東北発 コンクリート構造物の長寿命化を目指して
～ハイテクとローテクを駆使したメンテナンスのすすめ～」
日本大学工学部教授 岩城 一郎 氏

14：30～14：45 休憩

【 第 2 部（パネルディスカッション） 】

14：45～14：55 パネルディスカッションの主旨説明とパネラーの紹介
構造懇話会会長 森川 英典

14：55～15：55 パネラーによる話題提供

(1) 「兵庫県における橋梁維持管理の新たな展開」

兵庫県 県土整備部 土木局 道路保全課
高田 隆史 氏

(2) 「兵庫県内市町における橋梁維持管理への支援について」

公益財団法人 兵庫県まちづくり技術センター まちづくり推進部
西原 健二 氏

(3) 「ひょうご橋守隊の活動について」

ひょうご橋守隊
原口 和夫 氏

(4) 「奈良県コンクリート診断士会の取り組み」

奈良県コンクリート診断士会 副会長
松田 好史 氏（西日本旅客鉄道株式会社）

15 : 55～16 : 05 休憩

16 : 05～17 : 25 パネルディスカッション、質疑応答
座長・司会
構造懇話会会長 森川 英典

17 : 25～17 : 30 閉会の挨拶
構造懇話会副会長 嗟峨 晃

【 第1部（特別講演） 】

特別講演

「東北発 コンクリート構造物の長寿命化を目指して
～ハイテクとローテクを駆使したメンテナンスのすすめ～」

① 講演者

日本大学工学部土木工学教授 岩城 一郎 氏

② 講演内容

近年、高度経済成長期に集中整備された橋梁をはじめとする社会インフラの一斉老朽化が大きな社会問題となっている。特に、技術力・財政力の乏しい地方の市町村ではその維持管理に苦慮している。本講演では、はじめに東北地方における取組みを例に、橋梁のメンテナンス技術にはハイテクとローテクがあり、そのどちらも重要で、両者を使い分けることでメリハリの効いた維持管理が実現することを解説する。さらに、その具体例として、福島県内で行われている住民との共働による道づくりや橋守の事例を紹介し、「地域の橋梁はみんなで守る」意識とその体制づくりが必要であることを論じる。

【 第2部（パネルディスカッション） 】

話題提供題目(1)

「兵庫県における橋梁維持管理の新たな展開」

① パネラー

兵庫県 県土整備部 土木局 道路保全課 高田 隆史 氏

② 話題内容

本県では、従来より橋梁点検を実施し、点検結果に基づき、橋梁補修を実施してきたところであるが、今後更なる膨大な数の橋梁補修が必要となることや平成26年7月に施行された「道路法施行規則の一部を改正する省令」で、必要な知識及び技能を有する者が、近接点検により5年に1回の頻度で行うことが義務付けられたことから、従来の4～5倍の点検費用が必要となっており、今後益々予算確保が厳しい状況になることが予想される。そのような中、兵庫県では橋梁維持管理に関する新たな取り組みを展開していく必要に迫られており、本例会では、現在検討している新たな取り組みを紹介する。

話題提供題目(2)

「兵庫県内市町における橋梁維持管理への支援について」

① パネラー

公益財団法人 兵庫県まちづくり技術センター まちづくり推進部
次長(市町担当)兼市町業務課長 西原 健二 氏

② 話題内容

兵庫県まちづくり技術センターでは、県内市町の橋路橋老朽化対策を支援するため、長寿命化修繕計画の策定をはじめ、修繕計画を踏まえた補修工事の設計・積算・工事監理業務を受託している。昨年の道路法施行規則の改正による定期点検の近接目視義務化により、財源確保、職員数や技術力の不足といった市町の抱える課題に対応するため、当センターでは、橋梁定期点検「地域一括発注」方式の導入や「ひょうご橋守隊」の設立など、市町支援メニューを拡充し、橋梁のメンテナンスサイクルに沿った支援を幅広く行っている。これらセンターが実施している橋梁維持管理に係る市町支援の取組を紹介する。

話題提供題目(3)

「ひょうご橋守隊の活動について」

① パネラー

ひょうご橋守隊 原口 和夫 氏

② 話題内容

平成27年3月11日、兵庫県土木職OBの14名がメンバーとなって、「ひょうご橋守隊」が発足した。その目的は、県内市町が管理する道路の老朽橋を対象に、(公財)兵庫県まちづくり技術センターと連携しながら、ボランティア活動により損傷状況の点検・経過観察等を行い、道路の適切な維持管理ひいては地域の安全・安心のまちづくりに貢献することにある。隊員は、兵庫県に勤務し道路、橋梁等のインフラ整備に長く携わってきた知識や経験がある。とはいえ、老朽橋の点検には新たな知識が必要であり、隊員は自身の知識や技術力の向上に努めながら、活動に取り組んでいる。発足してほぼ1年を迎えた時点で、現場での点検活動の課題、隊員のスキル向上の課題などを報告する。

話題提供題目(4)

「奈良県コンクリート診断士会の取り組み」

① パネラー

奈良県コンクリート診断士会副会長 松田 好史 氏
(西日本旅客鉄道株式会社 構造技術室長)

② 話題内容

2013年12月に、いわゆる「国土強靱化基本法」が成立した。国土強靱化の推進にあたり、インフラの長寿命化や防災・減災による国土強靱化の推進が、ハード面での重要な課題となっている。奈良県では2014年4月に「奈良県道路インフラ維持管理連絡協議会」を設立し、奈良県内の各道路管理者が連携して道路インフラの維持管理を進めているが、課題は多いとされている。そのような状況の中、「奈良県コンクリート診断士会」は、コンクリート構造物の維持管理を通じて、コンクリート診断士の技術力向上や社会的地位の向上を図るとともに、地域への貢献を行うことを目的として、2015年6月に発足した。地域とともに歩み始めた「奈良県コンクリート診断士会」の取り組みについて報告する。

構造懇話会 懇親会申込書 (返信用 FAX)

新例会終了後、場所を移し、兵庫県私学会館併設レストラン（ハナワグリル）にて懇親会を開催します。

参加を希望される方は、必要事項をご記入の上、ご返信の程お願い申し上げます。

懇親会費用 : ￥5,000/人 (予定、当日集金させていただきます)

返信先FAX番号: 078-949-2119

日本橋梁株式会社
技術・施工グループ 技術チーム
上原 正太郎 宛
TEL 078-941-3750

所属	お名前	領収書 (どちらかに○)
		必要・不要
		必要・不要
		必要・不要

恐れ入りますが、1月13日(水)までにご返信の程よろしくお願い申し上げます。

尚、E-Mailでご返信いただいても結構です。E-Mailの場合は、

E-MAIL : s-uehara@nihon-kyoryo.co.jp 上原 正太郎 宛 お願い致します。

